

「雪で遊ぼう」



感想一覧

- ・的当てゲームで金メダルを取れて良かったです。フリスビーも楽しかったです。(2年生)
- ・的当てゲームで当てられて嬉しかったです。(2年生)
- ・楽しく雪遊びを出来ました。(3年生)
- ・友達もできたし、外で思いっきり遊べたから良かったです。(6年生)

編集後記

ふるさと情報館前の広場で、様々な雪遊びを行い、寒さに負けずに、みんなで爽やかな汗を流しました。

令和4年度の第11回目の活動は、団員6名が参加してくれました。

今回の講座は、雪で遊ぼうというタイトル名で、スキーやスケートなどのウィンタースポーツではなく、雪上でも簡単に体を動かせる体験を用意しました。まず最初に雪玉を作り、割れないように相手に投げる雪玉キャッチボールから活動をスタートしました。10回連続でキャッチするのを目標に、1つの雪玉で長くキャッチボールするにはどうしたらよいか頭でよく考えながら取り組んでいました。その後は、体全体を動かす種目(増え鬼、ドッジビー、スノーフラッグ)を行い、寒空の下、団員のキラキラと輝く素敵な笑顔を見ることが出来ました。中でも、スノーフラッグ(ビーチフラッグの雪上版)がとても人気があり、低学年が高学年に勝つといった大番狂わせのような展開もあり、やる側も見る側もハラハラドキドキしながらの活動になりました!

活動の最後には、雪玉を的に当てる的当てゲームを行い、活躍や成績に応じてメダルをプレゼントしました。メダルの話をした途端に、子どもたちの目の色が変わり、真剣な目つきや表情で取り組んでいる姿をまじまじと眺めていました。これからも勝負・競争の楽しさ、面白さ、勝ったときや負けたときの嬉しさ、悔しさといった感情を大切に、今後も体験活動に参加してもらいたいと思います。担当の私自身も一緒に活動して、楽しみながら仲良く活動させてもらいました。今年度の活動も残すところあと1回となりました。最後の活動もみんなで仲良く楽しみながら活動に取り組み、たくさんの思い出作りをしましょう。(編集者 吉田 綾稀)

活動の様子



